

中澤秀平 市議会報告 日本共産党

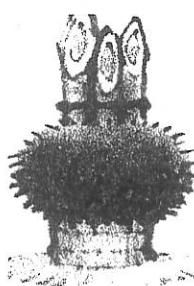
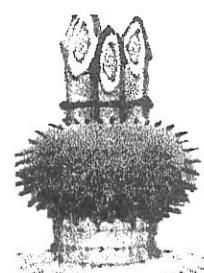
あいさつ

みなさん新しい年をいかがお過りでしたでしょうか。

昨年は新型「コロナウイルス感染症の影響を多くの方が受けた」と感じます。しかし、安倍政権に統べて菅政権も有効な対策をとつていません。12月半ばによりやべ「GO-O」の一時停止を決定しましたが明らかに後手での対応です。

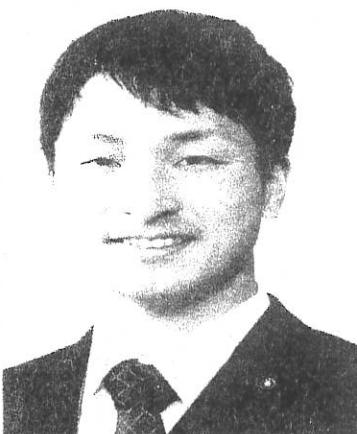
今年は総選挙です。高齢者の医療費負担増や史上最高額の軍需費など)を許さず、国民の暮らしをちゃんと応援する政権をつくる大きなチャンスです。日本共産党を伸ばして、必ず政権交代を実現させましょう。ぜひお力を貸してください。

日本共産党衆議院議員 塩川 鉄也
日本共産党前衆議院議員 梅村さえじ
日本共産党藤岡市議会議員 中澤 秀平



中澤 秀平 12月 定例会 市議会報告

一般質問



・近年の子どもたちの状況

近年、現場では「気になる子」(※)やアレルギー対策に入手がかかる状況も増えています。

さまたま研究で、子どもに対する保育士の人数が子どもの育ちに大きく影響することが知られています。また、文科省の統計には子どもたちの体が大きくなっていることが表れています。

市の5歳児検診受診者のうち、「気になる子」と考えられる子どもの割合は、2011年度から比べて増えています。(※

一般的に、保育上何らかの課題がある子ども、などと捉えられています。)



安全な保育を支える保育士の待遇改善が進まず、現場からは依然として悲鳴の声があげられています。その根本には保育制度の基準そのものが今の実態と合っていないことがあります。4歳以上の子どもに対する職員数は1948年の基準制定以来変わらず、施設の広さの基準は一切変更されていません。

職員配置基準(最低基準)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1948(年)	10:1					
1962						
1964	8:1					
1965						
1967						
1969						
1998	3:1					

市の5歳児検診での「気になる子」の割合推移

期間	割合
2011年~2015年	11.10%
2016年~2019年	18.10%

※12月4日一般質問答弁より中澤作成

国の基準では安全な保育が実施できないとして、多くの園で基準を上回る職員体制をとっています。

保育所等へのアレルギー対策費等の補助の実績推移

年度	補助園数	補助額	1園あたり平均
2015	10	322万6320円	32万2632円
2016	13	446万3281円	34万3329円
2017	12	403万2494円	33万6041円
2018	16	569万8610円	35万6163円
2019	17	604万602円	35万5330円

※12月4日一般質問答弁より中澤作成

また、アレルギー対策を行なう園むけの5年間で10園から17園に増えています。市からせりうした対策のための一一定の補助が出ていますが、実際の人物費としては不足している状況です。

「ロナ禍による困難に、やのした中、新型「ロナウイルス感染症の影響の広がりで職員への負担がより増えています。

保育分野は、医療関係者や他の産業を支えるHセシソシャルワークとして、学校が休校した緊急事態宣言中も要請にこたえて開所を続けました。

いま社会を支えるインフラとして保育をまもる現場では、さまざまに苦労がされています。行事開催の判断や、保護者との関係、子どもたちのマスクの管理、そもそも「密を避ける」というリスク管理が不可能な保育現場でも仕事をせざるを得ないストレスなど精神的な負担は想像以上です。また、職員の体調に万全を期すため、勤務体制に無理が生じてきています。ある園では発熱などで職員を休みます。

ませるために、パズルの拼貼シートを組んでいふところです。



群馬県内の市の保育士への慰労金支給状況

自治体	金額	支給対象者
桐生市	5万円	2020年2/11~6/30の間に10日以上勤務
伊勢崎市	5万円	2020年3/4~5/31の間に10日以上勤務
沼田市	5万円	2020年4/1~7/31の間に10日以上勤務
渋川市	3万円	2020年4/16~6/30の間に10日以上勤務
みどり市	5千円	2020年4/16~5/14の間継続して勤務

※各自治体のHPより中澤作成
(より詳しい内容は各自治体へお問い合わせ下さい。)

ます。」と答弁しました。
すでに支給している沼田・渋川・みどり市は藤岡市と同規模の自治体です。財政的にも藤岡市でもないはずではなく、せめてもの感謝の気持ちとして市独自でも支給をすべきです。

今回の感染症の影響で暮しが脅かされていなか、生活を保障する手段も、説謗中傷などの人権侵害を防ぐうえで重要となります。担当課の答弁ではそうした」とは「当然行うべきもの」として明文化していない、とのことですので、条例の制定を足掛かりに、市の積極的な対策を求めていきたいと感じます。

議案審議

・感染症による人権擁護条例の制定について

今議会では、新型「ロナウイルス感染症の影響による誹謗中傷などの人権侵害を防ぐための「藤岡市感染患者等の人権の擁護に関する条例」が制定されました。藤岡市内で感染者が増加しているなかですでに、条例は意義あるものとし、制定に賛成をしました。

藤岡市も「慰労金」の支給を、「慰労金」支給について健康福祉部長は「感染予防対策費の補助やマスクの配布をしている」として市では実施しないとの答弁でした。しかし慰労金は感染予防対策ではなく、関係者にたいする慰労の気持ちを表すものですね。

全国では多くの自治体が国に代わって制度を創設し、「慰労金」を支給はじめています。県内でも団のように5市が「慰労金」を支給しています。

市長は保育関係者に

対しても「本当に感謝の気持ちでいっぱいあります。

ただし、問題点もあり

ます。条例では市の責務

としての具体的な対策は相談窓口を設置する」といふまつてこま

